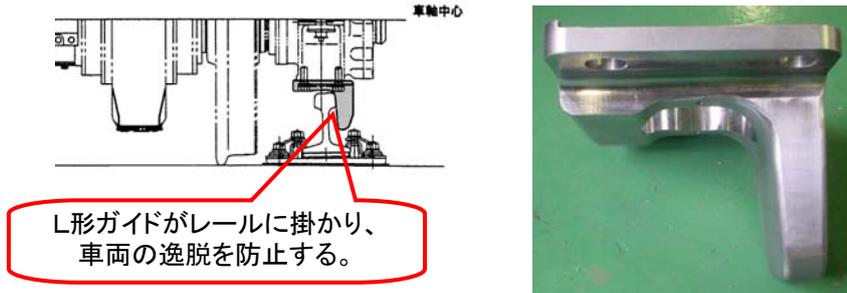


J R 東日本の新幹線脱線対策に対する取り組みについて

J R 東日本が導入に着手する新幹線脱線対策は以下の通りです。

(1) L型車両ガイド

台車に逆L型をした車両ガイド機構を設置し、車両が脱線した場合は、ガイド機構により一定以上車輪が横方向に移動することを防止します。



(2) 接着絶縁継目の破断防止策

車両が脱線した場合に、車輪もしくは台車の部材が、接着絶縁継目部（信号回路の変更点にあるレールとレールを繋ぐ金具）に当たるときの衝撃を低減させるための対策です。具体的には、接着絶縁継目部のボルトに直接車輪が当たらないような継目板の形状に改良いたします。



(3) 停止距離短縮策

新幹線では、沿線に設置した地震計が地震の発生を検知すると、架線への送電を停止して列車を停止させます。これまでは、車上のA T C装置が架線の停電を検知して非常ブレーキを動作させていましたが、新たに停電検知装置を設けることで、非常ブレーキの動作に要する時間を1秒程度短縮します。

